



# 双塔

カトリック新潟教会

2016年9月  
No. 340

涙・ほほえみ・怒り

新潟教会協力司祭 鎌田耕一郎

「涙」 「怒ったり、悔しがったり、羨ましがったり、人を困らせたりする涙があります。これは悪い涙です。偉大で美しいものに対する、また同情や友情からの涙もあります。これらの涙はよい涙です。ところが神の賜物である涙（聖人たちの涙）もあるのです」（ライサ・マリタン）。

単純で、明快な涙の分類である。

しかし、この分類には含まれない神の涙というものがあったのである。イエスの涙は聖書の中に二度記録されている。ラザロのよみがえりの奇跡のとき（ヨハネ 11・35 以下）、エルサレム崩壊の予言をされたとき（ルカ 19・41）。神の涙がどれほど美しく、気高いものであったかは、私たちの想像を超える。しかし、「イエス涙を流したまえり」という言葉は、イエスにたいする限りない親しさが呼び起されるのを感じるのである。

「ほほえみ」 聖書のなかにイエスの人間的感情を表す言葉を、いくつも見出すことが出来る。

「あわれにお思いになられた主は」（ルカ 7・13）、「イエスは感嘆して」（ルカ 7・9）、「いつくしんで」（マルコ 10・21）等。

しかし、いくら探しても「イエス笑いたまえり」という言葉をみつけることは出来ない。

「形、運動、状況、言葉、性格などのおかしみ」「物事の不秩序や不調和」（ベルグソン著『笑い』）が私たちを笑わせるのであるならば、神のまなざしの前にはいかなる不均衡もありえない。

イエスの笑いの中心は「親しい出会い」から生まれる暖かな、安らかな一つの輝きのように現れる「ほほえみ」と呼ばれる笑い—この世界で最も美しく、純粋な、聖なるほほえみがあったと思うのである。幼子を祝福されたとき（ルカ 18・16）、カナの婚宴の席で（ヨハネ 2・1 以下）。そして、どの子供も母の腕の中で、最初のほほえみを微笑むように、マリアさまとの間に、しあわせな母と子のほほえみがあったにちがいない。

「怒り」 私たちは、イエスにおいてガリラヤの詩のような風物の中で、柔和に心優しく語りかける憐みと愛の救い主を見る。しかし、イエスが怒りを感じられたこと、しかも激しい爆発的な怒りを示されたことを忘れてはいけない。

ファリサイ人の安息日にたいする頑なな態度に、「イエスは怒って見まわし」（マルコ 3・5）ている。またヘロデ・アンチパス王について「あの狐にこういいに行きなさい」（ルカ 13・32）と言われた時や、ファリサイ人に対する禍の八カ条（マタイ 23・13 以下）の中に烈しい怒りを読み取ることが出来る。そして、エルサレム神殿で「わたしの父の家を商売の家にしてはならない」（ヨハネ 2・16）と言われ、鞭で商人たちを追い出した時、誰もその暴力的な行為を押さえ静めることは出来なかった。それは、イエスの聖にして偉大な怒りに圧倒されたためであると思われる。イエスは人間の惨めさや弱さには、限りないあわれみを示している。しかし、奸智にたけた悪意や、かたくなな不信仰に対して、ある時は、仮借のない怒りを示されたのである。



## そよかぜ便り

### ■ 教会学校 夏の夜の集い ---- 8月6日(土) ----

“新潟まつり”2日目。今年のサマースクールは教会でのお泊りはなく、バーベキューの集い。夕方から、教会の駐車場の一角で、青年や岡神学生が汗を流しながら炭火をおこし、焼きそばやスペアリブ、夏野菜などを焼いて、子どもも大人もたくさん食べた後、スイカ割りや花火を楽しんだ。参加できた子どもは少なかったけれど、「大人も、みんな神様のこどもだよ」と、ゴザの上でくつろいだ夏の夜だった。

(写真：総務部提供)

### ■ 聖母被昇天ミサ、祝賀会 ---- 8月15日(月) 10:00 ~ ----

ミサが始まる前から降り出した久しぶりの雨に、草木が生氣を取り戻した。お盆で帰省した方の顔も見える聖堂で、菊地司教様、ラウル神父様、三崎神父様の共同司式によるミサが捧げられた。

司教様はお説教の冒頭、相模原市の障がい者施設「津久井やまゆり園」で起きた殺傷事件を取り上げられ、『生命の価値』を量る権利は、人間には与えられていない、「神の似姿として創造された人間は、創世記の初めにあるように、互いに助け合うものとして創造された。だから、助け合わなくては、人間は人間ではない」と話され、「神が望まれる平和の実現に努力していきたい」と結ばれた。また、この日は菊地司教様の靈名の祝日で、信徒から靈的花束が贈られた。

ミサ後は、場所をセンター1Fに移し、祝賀会が行われた。外ではテント内で「雨の中のバーベキューは初めてだね」などの会話も交わされ、男性らが汗水漬で鉄板焼き。室内では冷たいビールに焼きそばやトウモロコシなどをお腹いっぱい頂きながらの歓談。そして最後に、アメリカ式にカットされた大きなスイカにみんなの歓声があがった！

## みんなの広場

「『広報部』って、どんな仕事をしているの？」  
そんな声に応えて、今月の“各部の紹介”は、『**広報部**』です！



『広報部』は、毎月の『双塔』と年に2回の季刊『双塔』を発行しています。

毎月発行の『双塔』は、下の図のように構成されています。  
この1枚があれば、ミサのこと、教会で行われたこと、そして予定が一目瞭然！

<b>双塔 9月号</b>  神父様のお話          p.1	<b>そよかぜ便り</b>  前月の主なピックス          p.2	<b>インフォメーション</b>  来月のお知らせなど   <b>みんなの広場</b> 各部の活動を紹介中   p.3	<b>9月の予定</b> 今月の予定 (主日・祝祭日や イベント、行事、清掃 日を掲載！) <b>9月の典礼奉仕</b> 今月の典礼当番  p.4
--	---	--	---



6人目のメンバーになりませんか。熱烈歓迎です！！

